

令和 2 年 10 月 定 例 会
予算決算委員会記録 【先議】

令和 2 年 10 月 8 日 午前 11 時 45 分
全員協議会室

付託案件 議案第 58 号 令和 2 年度有田市一般会計補正予算（第 6 号）

出席委員 岡田行弘委員長・中西登志明副委員長
浜口元司委員・西口正助委員・福永広次委員・宇野博治委員
堀川 明委員・中谷桂三委員・児嶋清秋委員・池田敦城委員
上山寿示委員・小西敬民委員・成川 満委員・上野山善久委員

生駒三雄議長

経営管理部 嶋田博之部長・大松満至理事
山本芳規経営企画課長・御前一晃総務課長
谷中祐子財政係長・上村泰広総務係長

市民福祉部 宮崎三穂子部長・石井哲也生活環境課長
松村尚彦福祉課長・南村尚史福祉相談室長
桃井克博健康課長・若松伸行高齢介護課長
梓谷まりえ保健指導係長・福田典久介護保険係長

経済建設部 河野孝司部長・鈴木順一理事

水道事務所 江川敦夫所長

出納室 森川直子会計管理者

教育委員会 谷輪吉伸教育次長・伊藤正人教育委員会参事
嶋田実明生涯学習課長

消防本部 嶋田富司消防長・尾藤海男樹総務課長

市立病院 神保佳紀病院事務長・石井絹代庶務課長

議会事務局 田中 聡局長・福永康一次長・大谷真也書記

開会 午前11時45分

○岡田委員長： 開会あいさつ

議案第58号、令和2年度有田市一般会計補正予算（第6号）

○若松課長： 第3款 民生費 関係部分の説明

○松村課長： 第3款 民生費 関係部分の説明

○桃井課長： 第4款 衛生費 関係部分の説明

○山本課長： 歳入 関係部分の説明

○岡田委員長： 説明は終わりました。次に、質疑を認めます。

御質疑ありませんか。

○成川委員： 歳出の老人福祉費、地域介護、福祉空間整備等施設整備補助金。これ、対象施設がどこかということと、もう一つ予防費の予防接種費助成金、5千8百万円をあげてくれていますが、接種予定人員は何人かの2点をおききたい。

○若松課長： 老人福祉費の介護の施設ですが、対象施設は小規模養護老人ホームや認知症の高齢者グループホーム、また小規模多機能型居宅介護事業所等の施設でございます。

○岡田委員長： 具体的施設名は。

○若松課長： 今回対象としておりますのは、宮原町にありますグループホーム有田ささゆりでございます。

○桃井課長： このインフルエンザの予防接種の対象者でございますが、65歳以上の方は現在定期接種になっておりまして、それ以外の方は任意接種ということで、対象は全市民の方を考えております。約2万7千人の市民の内の約70パーセントの方が接種していただけると考えておりますので、1万9千人を目途に予算計上しております。

○成川委員： 了解。

○小西委員： 今答えていただきました予防接種費助成金の5,861万8千円、今の答えですと65歳以上の方に助成をする。もう一つは注射をされる方、ご希望者には全員ということでしょうか。

○桃井課長： 接種を希望される方全員に助成をするという考えでございます。

○小西委員： お年寄りが受けると千三百円ですよね。こういわれましたけど。インフルとコロナが同時発生するというのは、単年度が非常に多いと思うのですが、こういうお考えについて、今回限りを考えているのでしょうか。

○桃井課長： 今回の助成なのですが、コロナ禍による特別な対策と考えておりまして、現在のところ今回限りの助成と考えております。

- 小西委員： これを契機にですね、平時でも当然行って欲しいという声をいただいておりますので、とりあえず今回の予算はこの通りだということがありますが、次年度からも同じように5千何百万円あれば、1万何千人の方に接種できるということでございます。市長の本日のご自分の言葉で住みよいまちづくりというのは、当然他町が0円でやっているのに、有田市だけがというのはまた出てくる話です。その選挙の結果、こういう反省点があって、こういうのをやりましたよというふうに、私は善意に取っていますので、ぜひ次年度からも同じような考え方でお願いをしたい。これを要望しておきます。
- 中谷委員： 今の件で、負担が一般財源になっているが、近々国会が開催されたら、全市民対象の補助金が出るという話が出ていたのですが、今回はこれを通して、また次はそういった振りかえの議案が出てくる予定になっていますか。
- 山本課長： 現在のところ情報としまして、正確なものは私どもも聞いておりませんが、今のところは一般財源で措置してございますが、もし特定財源として交付がございましたら、その際には財源更正等させていただきたいと思いません。
- 中谷委員： 了解です。続いて3款の民生費の児童福祉費のところの備品購入費で、散歩用ベビーカーで一般備品150万円とお聞きしたのですが、これが適用される保育所名と合計何台になるのかを教えてください。
- 松村課長： これにつきましては乳児のおられる保育所ということで、宮原、古江見、そとはまの3カ所を予定しております。台数につきましてはそれぞれの園に4台ずつ配置をしていきたいというふうに考えております。
- 中谷委員： 了解です。
- 岡田委員長： ほかにございませんか。
- 上野山委員： この先議をですね、20日ほど早くする。どうしてもしなければならぬ理由の一つというか、重大なところは予防接種のところだと思います。あとの二つについては、20日どうしても前倒ししなければならない理由には、なっていないのかという気がしています。予防接種なのですが、これはもう既にやっているところもあるかと思えます。そうした場合に遡って費用を負担するのか、いやもうそこは割り切りでいくのか、スケジュール的なところこの先議に至った経緯を教えてくださいたいと思っております。
- 桃井課長： まずスケジュール的なことに関してお答えいたします。インフルエンザの定期接種の期間というのが、10月1日から翌年1月31日までと決まっております。既に接種された方に対しては、きっちりと接種費用をお返しするというような手続きをさせていただきたいと思えます。また、この先議をお願いしたのは、予防接種を医療機関で接種した場合、自己負担を一旦払うという行為を無くし、医療機関から直接、有田市へ請求していただけるような形を早期に取りたいと考えております。それで先議をお願いさせていただきました。
- 山本課長： それ以外の案件について、先議に至ったところですが、まず第3款の老人福祉費の高齢者福祉施設整備事業における補助金につきましては、

そのグループホーム有田ささゆりに対する内示が、8月にありましたが、今回の議会の開会が10月になってしまいましたので、申請者側も工期的にも早期の執行が望ましいということで、先議をお願いしているものでございます。あと新型コロナウイルス感染症に関します費用につきましても、予防対策に速やかに着工するためということで、先議をお願いしたものでございます。

○**上野山委員**： 一番は予防接種の事だと思いますので、セットの形になっているのでということだと思います。これ、インフルエンザの予防について、今日これ以降の話になるとと思いますが、市民の方に広くPRしていただいて、先程目途は70パーセントというお話でしたが、万が一80パーセント、90パーセントの方が受けるということであっても、そこは弾力的に運用していただくという形で出来るだけ、予防効果がどれだけあるのかはわかりませんが、安心感にはつながると思いますので、是非その辺りに気を付けて、十分なPR活動をしていただけたらと思います。

○**岡田委員長**： ほかにございませんか。

○**宇野委員**： 今の予防接種の件ですが、私はかかりつけ医でできたのですが、注文してもすぐにワクチンは入らない。ワクチン不足ということでもないのですが、市民全体に行きわたるだけのワクチンが確保できるかどうかを各医療機関に任せているのか。それとも有田市として力添えしているのか、その辺のことをきかせて下さい。

○**桃井課長**： 今期のインフルエンザ予防接種のワクチンに関しましては、過去最大量が供給されるということですが、市内のクリニックやワクチン業者に確認したところ、昨年と同じ量は確実に医療機関へ納入されるということですが、大量にワクチンを追加注文、納品していただける状況では無いということであり、このワクチンの納入に関しましては、やはり医療機関と業者とのやり取りになりますので、有田市が是非増加して下さいということをお願ひできる状況にはないということになります。

○**宇野委員**： やはり、さあと言ってワクチンが入らない。今マスコミなどで予防接種を進めるような話が出ているので、日頃は接種しようと思わない方も接種に来る。不意なプラスアルファが多くなったので、ワクチンが間に合わないかもわからないという話をききましたので、その辺を確認したかったわけです。市としては、そういうふうなことにはタッチできないし、医療機関に任さなくては仕方がないということですね。

○**桃井課長**： インフルエンザ予防接種の優先対象者への呼びかけということで、厚生労働省から通知がきておりまして、優先的な接種対象者というのが、まずは65歳以上の方、続きまして医療従事者、そして妊婦さん、生後6か月から小学校2年生ということでワクチンをより必要とされている方に確実に届くよう、医療機関に周知して下さいと依頼がありました。その依頼を受けまして、有田市医師会と協議いたしまして、厚生労働省の予定通りなのですが、まずは10月25日までに高齢者を優先的に、それ以降は先程申し上げた妊婦さん、生後6か

月の方などが優先的に接種していただけたらということで、医師会と協議しております。予約を受けた場合にも、そのような旨で優先的に接種が必要な方が接種できるような形にしていきたいと、会員に周知していただいています。

○宇野委員： 了解。

○岡田委員長： ほかにございませんか。

○西口委員： いま約1万9千人、2万人ほどですよね。対象が70パーセントで、それはそれでワクチンの問題など色々ありますが。ちなみに市立病院はその内で何パーセントぐらい、過去の実績からの割合は。ワクチンを毎年予防接種していますよね。その時の割合、全体の。

○桃井課長： 去年の市立病院での実績が、約500人ときいております。

○西口委員： そうすれば何パーセントになるのかな。去年はどれぐらいの人が接種しているのか。

○桃井課長： 去年の実績ですが、65歳以上の定期接種の方に関しましては、有田市に報告が来ますので、人数としましては4千857名の方が接種しているということになります。ただ、65歳未満の方に関しましては、任意接種でございますので、何人接種しているかの正確な数字が有田市に届きませんので、その辺は申し訳ございませんが不明となっております。

○西口委員： わかっているのは500人か、市立病院で。

○桃井課長： 500名の中には、65歳未満の方、65歳以上の方と分かれているかと思いますが、詳しい内訳はわかりませんので、申し訳ございません。

○西口委員： 了解。

○岡田委員長： ほかにございませんか。

○池田委員： この議案とは関係無いのですが、先程から、いつも気になっていることですが、例えば場所とか人数とか、いつも質問されそうなことは各委員に言われる前に、ある程度尋ねられそうなことはこの説明のところで、もう少し詳細に説明するようにすれば、このようなことを質問しなくても済むと思う。別に隠す必要もないと思いますので、その辺りをもう少しスムーズに進むように、詳細に説明するようにして下さい。これから委員会も続くのですから、それだけお願いしておきます。

○岡田委員長： 池田委員が言われた通り、当局の方はよろしく申し上げます。ほかにございませんか。

○中西副委員長： 接種に関連して、これは市外の病院で接種した場合もOKですか。

○桃井課長： 65歳以上の方の定期接種に関しましては、和歌山県内で接種できる病院というのは決まっています。それ以外の方に関しましては、任意接種ということになりますので、市外の病院で接種したとしても領収証等の接種を証明するものがあれば、お支払いさせていただくという形を考えております。

○中西副委員長： 了解しました。

○岡田委員長： ほかにございませんか。なければ、私から一言。市内であれば、

お金を払わなくてもいいが、市外であれば領収書が必要だということで、よろしいですか。

○桃井課長： そのとおりでございます。

○岡田委員長： 先程、上野山委員の方から予算について、もしオーバーした場合も対応をお願いするとの意見がありましたが、オーバーした場合に補正予算を計上するのか。また、13歳未満の方は2回接種ということがありますが、その辺り2回接種できるのか、この補助金が適用できるのか教えてください。

○山本課長： 実績等をみまして、補正の方を考えさせていただきます。

○桃井課長： 13歳未満の方に関しましては、2回の接種を予定しております。

○岡田委員長： ほかがございませんか。

○委 員： なし。

質疑終了 採 決 (可 決)

閉 会 午後0時10分